

日英馬搬交流活動の実施

1 概要

馬搬の継承・発信に取り組む遠野馬搬振興会(以下、振興会という)は、平成25年9月26日、東京都の衆議院第1議員会館において英国馬搬公益信託法人、日本に健全な森をつくりなおす委員会との共催により、日英馬搬シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムでは、日英両国の馬搬の現状について情報交換が行われたほか、馬搬を通じた人と動物と自然の共存、森林環境教育、これからの林業などについても議論が行われました。事前に当センターと振興会事務局がシンポジウムの運営方法等を綿密に打合せを行ったことで、有意義な議論が展開され、来場者に馬搬のPRが図られました。

このシンポジウムの後、平成25年10月3日、英国馬搬協会会長(ダグ・ジョイナー氏)、日本に健全な森をつくりなおす委員会委員(C.Wニコル氏)が遠野市を来訪され、「日英馬搬ワークショップ」が行われました。



2 日英馬搬ワークショップ

ワークショップでは、遠野市綾織町の一般民有林において、最初に馬搬のデモンストレーシ

ョンを行い、その後、日本と英国それぞれの馬搬方法を比較しながら、意見交換を行いました。この意見交換の中で、英国馬搬協会会長(ダグ・ジョイナー氏)から、英国では馬力を有効に使うための科学的分析、馬具(ハーネスや安全装置、荷台等)の改良、馬用の小型フォワードの開発のほか、馬の体調管理を含めた馬搬技術研修を行っており、日本の馬搬は改良の余地がある旨の意見をいただきました。

当センターは、このワークショップの開催にあたって、馬搬に適した現地情報を提供すると共に、ワークショップの効率的な進め方などについてアドバイスを行いました。



3 今後の展開

今後、遠野の馬搬については、英国との交流を通じて閑散期の取組み(馬耕等)等も参考とし、技術改良等を図りながら、効率的な搬出方法を学ぶ必要があります。当センターとしても、こうした課題の解決が図られるよう、引続き、振興会が行う取組みを支援していきたいと考えております。